



2017年7月4日現在
日本貿易振興機構(ジェトロ)

イノプロム 2017 日本側主催分科会②「中小企業分野における協力」

資源依存からの脱却を目指し、国内産業の振興と高付加価値産業化を図るロシアは、現在、産業の基盤となる中小企業の育成や外国からの技術導入に積極的に取り組んでいる。そうした分野では、日本企業にとっても新たなビジネスチャンスの芽が生まれつつある。

その一方、日本企業からは、「不安定な為替」「通関などの諸手続きが煩雑」「原材料・部品の現地調達の高コスト」などのビジネス環境の課題を指摘する声もあり、ロシアのポテンシャルを十分に知るには至っていない。

現在日露間では、昨年両国首脳の間で合意した「8項目の協力」に基づき各種経済交流が進む。その中には「中小企業交流・協力の抜本的拡大」「ロシアの産業多様化、生産性向上」も重要なテーマとなっている。

本分科会では日露両国企業が一堂に会するイノプロムの場を利用し、日露の中小企業間の産業連携の可能性について、技術面を中心に議論する。

会議名: 日本側主催分科会「中小企業分野における協力」

テーマ: 日露の中小企業間の産業連携を拡大するには ～技術面を中心に～

日時: 2017年7月11日火曜日 10:00～11:30

会場: 国際展示センター「エカテリンブルグ EXPO」
第4パビリオン/ホール4

モデレーター: 田中 一史 日本貿易振興機構(ジェトロ)総括審議役(国際展開支援担当)

講演者: 「日本の中小企業の魅力と今後の日露ビジネスへの期待」

高田 坦史 中小企業基盤整備機構 理事長

「ロシアビジネスの魅力と日本企業に対する期待」

レオニード・アガファノフ 技術発展庁 副長官

パネリスト:

(日本側) 柴崎 一正 株式会社富士機工 代表取締役

中田 充 株式会社中田製作所 代表取締役社長

牧野 英一 アフトワズ・ルノー・ニッサン パーチエシングオーガニゼーション
現地化/ものづくりゼネラルマネージャー

(ロシア側) ニキータ・バンツェキン 中小企業発展公社 取締役広報部長兼国際関係部長
他ロシア企業から2名程度の登壇を調整中

会議形式: 講演及びパネルディスカッション形式

言語: 日本語、ロシア語(同時通訳)

参加者数: 60～80名(シアター形式)